

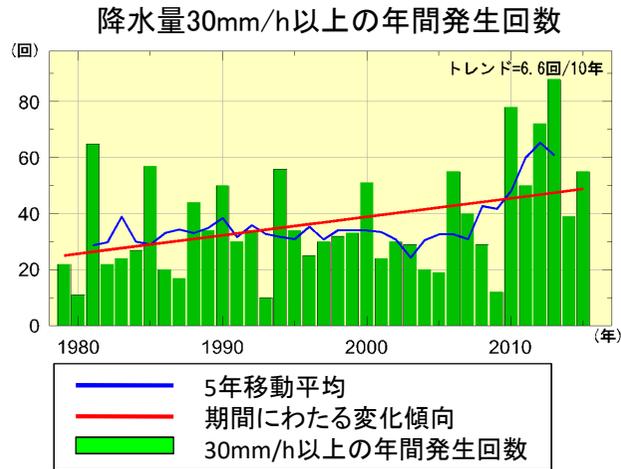
# 網走川流域における流域対策等に関する 取組について

令和2年2月13日

網走川流域における新たな検討の場

# 北海道における雨の降り方の変化と網走川流域における洪水被害等

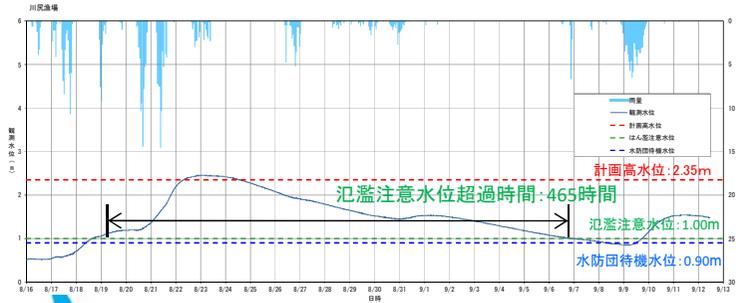
- 北海道において、**時間雨量30mmを超える短時間雨量が約30年前の約1.9倍**になるなど、近年、短時間強雨の発生回数が増加している。
  - 平成28年8月洪水では網走湖で氾濫注意水位を465時間超過した実績があり、網走湖に大きな負荷がかかっている。
  - 近年、雨の降り方が変わってきていることを踏まえると**網走川においてもいつ氾濫が発生してもおかしくない状況**である。
  - 平成13年には土砂流出により網走湖に土砂堆積が発生した。現在も土砂流出に伴うしじみ等の水産資源への影響、大雨による農地への浸水や農地崩落等の農業被害等が懸念されている。
- ⇒以上の状況を踏まえ、網走川流域全体で**危機意識を共有するとともに、流域対策等を進めていく必要**がある。



### 道内アメダス100地点当たりの時間当たり30mm以上の降雨発生回数



### 川尻漁場観測所観測水位(網走湖)



※出典: 札幌管区气象台, 北海道の気候変化 第2版, 2017.3

<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/tenki/kikou/kikohenka/ver2/report.pdf>



崩落した農地からの土砂流出



農地周縁にできた侵食



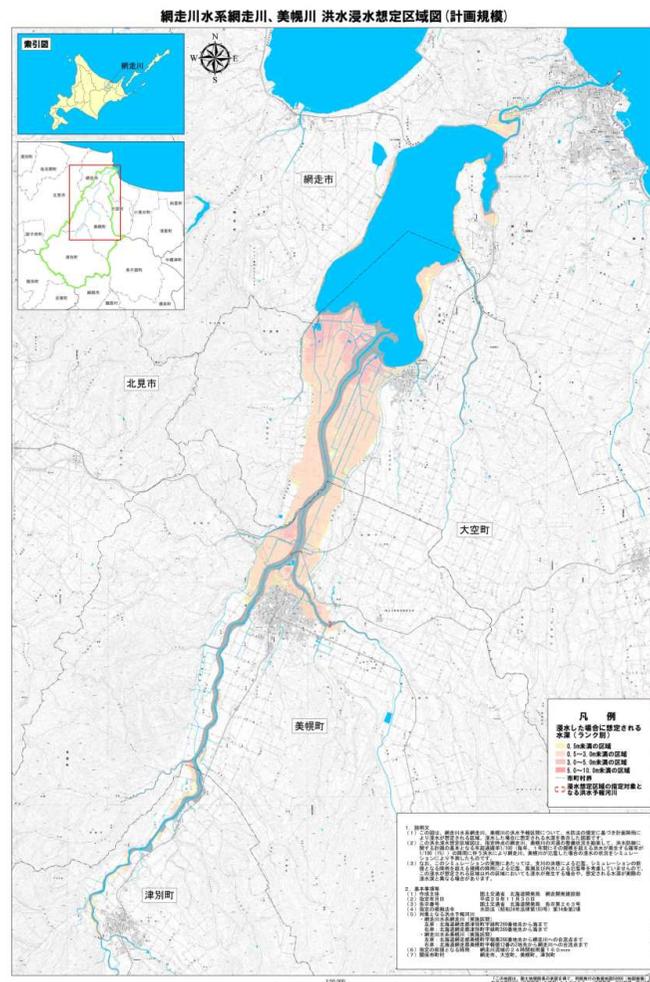
網走湖呼人湾周辺の洪水状況(平成13年)



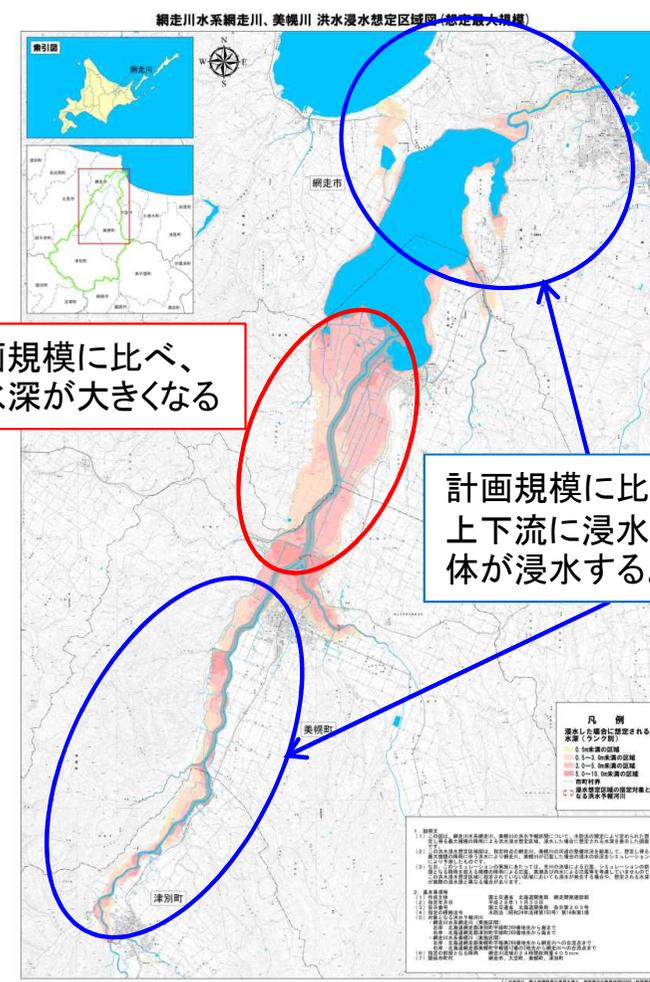
網走湖女満別湾周辺の洪水状況(平成13年)

# 降雨量の変化に伴う網走川流域の浸水想定区域の変化

- 網走川の計画規模(1/100確率)の降雨量は161mm/24hrに対し、**想定最大規模の降雨量は405mm/24hrと計画規模の降雨量の約2.5倍**となっている。
  - 想定最大規模時の浸水想定区域図では、計画規模と比べて流域全体で**氾濫による浸水被害の拡大が想定**される。
  - 氾濫により**家屋や公共施設等の浸水、農地の冠水被害、土砂流出による河道閉塞や網走湖等の生態系への影響等、大規模な被害が想定**される。
- ⇒このため、超過洪水に備えた取組として流域対策等を実施することが重要である。



網走川水系浸水想定区域図(計画規模)



計画規模に比べ、  
浸水深が大きくなる

計画規模に比べ、網走川流域の  
上下流に浸水域が増え、流域全  
体が浸水する。

網走川水系浸水想定区域図(想定最大規模)

# 網走川流域における流域対策等に関する取組の概要

- 気候変動の影響等により、計画規模を超える降雨の頻発化が懸念されていることを踏まえ、網走川河川整備計画における「地域一体となった流域全体での流量を抑制する方策」や近年問題となっている土砂流出や農地崩落への取組等を検討するために「網走川流域における新たな検討の場」を設置。
- 網走川流域における尊い人命や貴重な財産及び重要な産業の「安全・安心の確保」に向けて、とるべき備えや具体的な取組内容を流域対策等に関する取組ビジョンとしてとりまとめて実施するもの。

## 網走川流域における新たな検討の場

構成機関で実施すべき流域対策等を議論・検討。

### 構成機関

網走開発建設部  
網走南部森林管理署  
オホーツク総合振興局  
網走市  
大空町  
美幌町  
津別町

### 有識者懇談会 委員

北見工業大学  
早川教授（河川）  
東京農業大学  
吉田教授（農業）  
東京農業大学  
寺澤教授（林業）  
東京農業大学  
園田助教（水産）

有識者懇談会での意見や助言を  
取組ビジョンに反映させる。

網走川流域における流域対策等に関する  
取組ビジョンの策定・推進



- 網走川流域における尊い人命や貴重な財産及び重要な産業の「安全・安心の確保」に向けて、とるべき備えや具体的な取組内容を取りまとめたもの。
- 取組ビジョンの内容はできることから開始して着実に効果を発現していくとともに、本取組の継続によって構成機関や網走川流域における地域住民の流域対策等に係る意識向上の基礎にしていくものである。

## 『網走川流域の尊い人命や貴重な財産及び重要な産業の「安全・安心の確保」』

1. 【洪水等に関する取組】  
出水時の治水安全度の向上や  
土砂流出等による被害の軽減

【取組内容】

- 01. 治水安全度の確保
- 02. 土砂流出抑制及び農地保全
- 03. 水害リスク情報の周知

2. 【平常時からの取組】  
網走川流域の理解・促進

【取組内容】

- 04. 防災教育の推進
- 05. 流域学習の推進
- 06. 流域ツーリズムの推進

3. 【環境に関する取組】  
網走川の環境保全の取組を通  
じた流域関係者の意識向上

【取組内容】

- 07. 流域の自然環境保全
- 08. 住民が身近にふれあえる  
場の確保
- 09. 多彩な生態系が維持される  
河川環境の保全や復元
- 10. 河川生態系に関する啓蒙
- 11. 網走湖水環境の改善

# 網走川流域における流域対策等の取組【1. 洪水等に関する取組】

## 【取組1】治水安全度の確保



河道掘削



ピーク流量抑制に関する検討



堤防整備



内水被害軽減対策(釜場の整備等)

## 【取組2】土砂流出抑制及び農地保全



農地の土砂流出箇所予測マップ



沈砂池の整備・維持管理

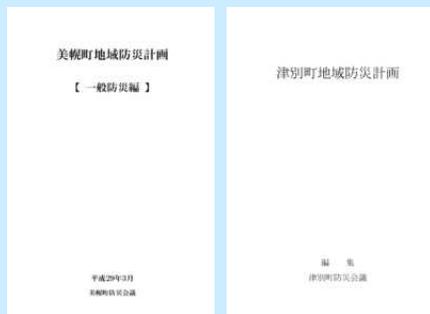


農地からの土砂流出抑制  
(畦畔による土砂流出抑制)



山地からの土砂流出抑制  
(植樹による土砂流出抑制)

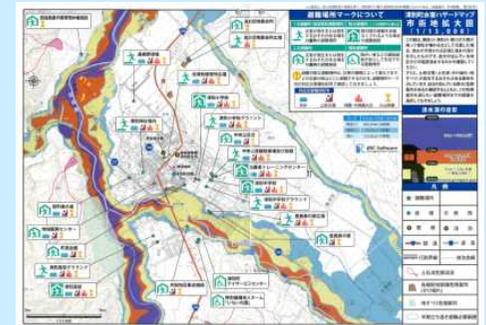
## 【取組3】水害リスク情報の周知



各種計画(マニュアル)等の整備



構成機関との連携連携及び情報共有



水害ハザードマップの作成及び配布

## 【取組4】防災教育の推進



防災学習の様子

## 【取組5】流域学習の推進



出前講座の実施

## 【取組6】流域ツーリズムの推進



かわまちづくりの推進



防災学習による防災意識の啓発



網走川流域体験ツアーの実施



かわたび北海道(大曲堰、水辺プラザ)

## 【取組 7】 流域の自然環境保全



河川水質の監視(継続的なモニタリング調査)

## 【取組 8】 住民が身近にふれあえる場の確保



河川の清掃

## 【取組 9】 多様な生態系が維持される河川環境の保全や復元



生態系に配慮した河道整備



計画的な植生・植樹等による保全

## 【取組 10】 河川生態系に関する啓蒙



地域の子供たちへの環境学習



川の生態調査

## 【取組 11】 網走湖水環境の改善



大曲堰の運用による塩淡水境界層の制御



網走湖の水質に関するモニタリングの実施

# リーディング・プロジェクトの選定

○先行して取り組むべき対策をリーディング・プロジェクトとして4つの取組を選定。

## ●河道掘削及び伐開等の適切な維持管理

R P 1 : 河道掘削により河積を確保し、治水安全度の向上を図る。

R P 2 : 伐開等による適切な河道内樹木の維持管理により治水安全度の維持・向上を図る。

## ●植樹の実施や農地の土砂流出箇所予測マップの活用

R P 3 : 植樹を行うことで、山地の裸地部分から土砂流出の抑制を図るとともに、流域関係者が植樹イベント等に参加することにより流域対策等への意識向上を図る。

R P 4 : 農地の土砂流出箇所予測マップを用いた定期的な点検・確認等を実施することで農地保全の取組を推進し、土砂流出抑制を図る。